

全国の相対的貧困率等

相対的貧困率及び子どもの貧困率ともにおおむね右肩あがりで見られ、2012（平成24）に相対的貧困率は16.1%、子どもの貧困率は16.3%と最も高くなっている。

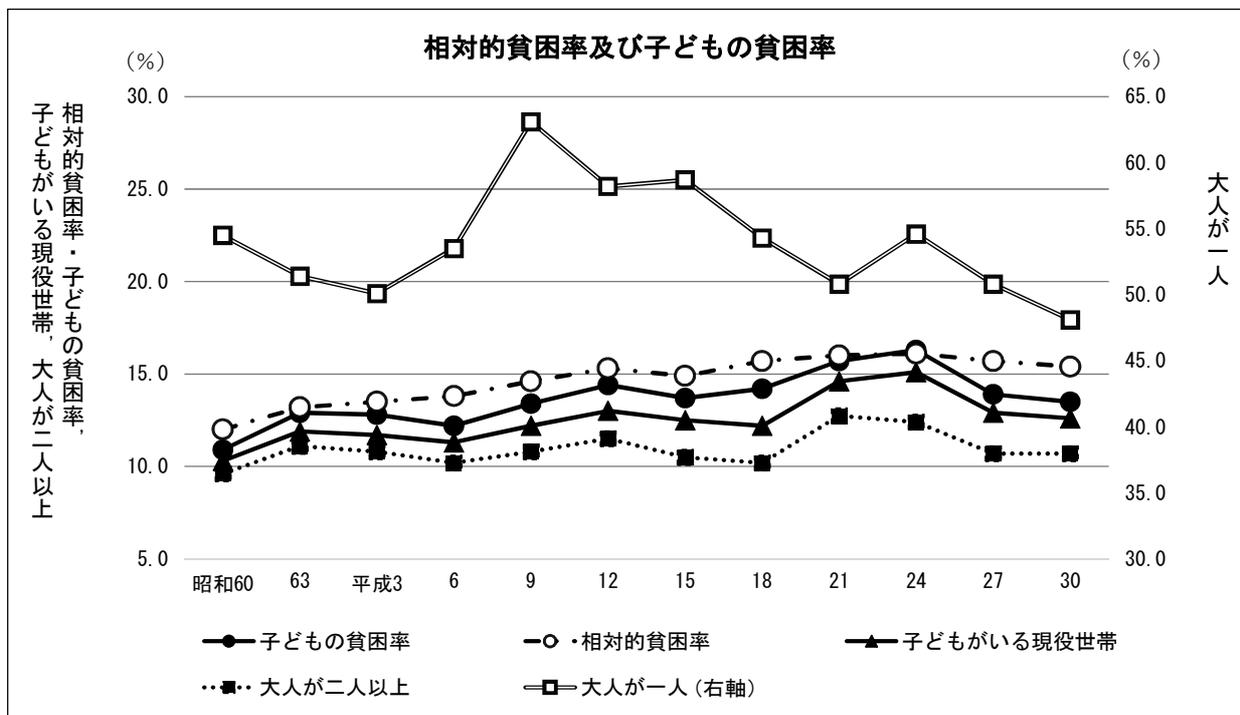
直近の2018（平成30）年は、相対的貧困率は15.4%、子どもの貧困率は13.5%となっている。

子どもがいる現役世帯については、12.6%となっており、そのうち、大人が一人の世帯では48.1%、大人が二人以上の世帯では、10.7%となっている。

貧困率等の年次推移

	昭和60	63	平成3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
子どもの貧困率	10.9	12.9	12.8	12.2	13.4	14.4	13.7	14.2	15.7	16.3	13.9	13.5
相対的貧困率	12.0	13.2	13.5	13.8	14.6	15.3	14.9	15.7	16.0	16.1	15.7	15.4
子どもがいる現役世帯	10.3	11.9	11.7	11.3	12.2	13.0	12.5	12.2	14.6	15.1	12.9	12.6
大人が一人	54.5	51.4	50.1	53.5	63.1	58.2	58.7	54.3	50.8	54.6	50.8	48.1
大人が二人以上	9.6	11.1	10.8	10.2	10.8	11.5	10.5	10.2	12.7	12.4	10.7	10.7

資料：厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」



資料：厚生労働省「2019年国民生活基礎調査」